

小中学生が 農作業に汗

屋代高校付属中学校の2年生80人は5日、国の名勝や重要文化的景観として知られる「姨捨の棚田」で田植えを体験した。主に東北信地方の各地から通っている生徒たちに、千曲市の風土に触れる機会をつくらせて、総合学習の時間を使って初めて取り組んだ。

屋代高付属中の2年生

姨捨で田植え

田植えは、千曲市が「植えて」などと指導を募集する「棚田貸し」を受けながら、2カ所です制度」を活用して実施。9月にも棚田を訪れて収穫体験をする。生徒たちは、地元の農家をつくる「名月会」の会員から「親指」人差し指で苗を持って、「だいたい15分間隔で」



姨捨の棚田で田植えをする屋代高校付属中の生徒たち

五加小の 4年生 タマネギを収穫

五加小学校の4年生70人は4日、内川の畑で、昨年11月に自分たちで苗を植えたタマネギを収穫した。子供たちは「双子のタマネギ」

収穫体験は、地元農

募集を称と愛キャラ

市が合併10周年の記念で

千曲市は、合併10周年を記念したオリジナルのキャラクターづくりに取り組んでいる。10年の節目を機に、未来に向かって市民の一体感や連帯感を醸成するとともに、千曲市の魅力を市内外にアピールする目的。7月31日(必着)まで、市民に親しまれるキャラクターのデザイン画と愛称

千曲版

長野広域
(土曜日掲載)

を募集している。千曲市は4月から5月にかけて計3回、市民25人が参加して募集するキャラクターのイメージなどについて話し合うワークショップを開催。募集するキャラクター像を①市民に愛される②市内外にアピールするために活躍できる③などとした。採用作品は、屋代南高校ライフデザイン科の協力で、着ぐるみにする予定。ほかに市のホームページや印刷物などで活用する。応募資格はな〜、

口・アマの別、年齢住所などにかかわらず1人3点まで応募できる。1次選考で数点に絞り、その後、市民投票によって採用作品1点を決める。採用された作品の作者には賞金10万円と千曲市の物産品を贈る。募集要項や応募用紙などは千曲市のホームページ(http://www.city.chikuma.nagano.jp/app/index.html)から入手できる。④千曲市企画課(2673-1111)。